

はじめに

はじめまして。岡山市立平井小学校教諭の遠藤隆平と申します。

私は、ICT の力によって今までできなかったことができるようになる瞬間が大好きです。そんな「できた！」という感動の瞬間が、子どもたちの自信になり、先生方の授業づくりの幅を広げていく様子を、これまで何度も見てきました。そうした体験を、より多くの方と共有したいという思いから、子どもたちや先生方、学生の皆さんと共に学ぶ場を県内外の様々な現場でつくっています。

数ある ICT ツールの中でも、私が特に魅力を感じているのが「Canva」です。直感的に使えて、おしゃれで、多機能。授業づくりや児童の作品づくりにおいて、まさに「魔法のようなツール」です。子どもたちの表現力や創造力を引き出す「学びのパートナー」にもなり得ると感じています。

本書では、そんな Canva を教育に取り入れるためのヒントや実践例、すぐに使えるテンプレートを数多く紹介しています。どなたでもスムーズに授業で取り入れられるように、ICT に少し苦手意識がある先生にも、初めて使う先生にも、日常的に活用されている先生にも「使ってみたい」と思っただけのような本になっています。

この本を通じて、先生方の授業がもっと魅力的に、そして、子どもたちの学びがもっと楽しく、もっと深いものになることを心から願っています。

このような貴重な出版の機会をいただけたのは、日々共に歩んでくれる子どもたちや保護者の皆様、先生方、学陽書房の皆様、そして家族の支えがあってこそです。この場を借りて心より感謝申し上げます。

そして、今、ページをめくってくださっている皆様にも、深く感謝を申し上げます。お忙しい毎日の中で、子どもたちのために新たな学びを求めるその姿勢に、敬意を表します。本書が、そんな皆様の新しい一歩の後押しとなれば、これ以上の喜びはありません。

Canva を通して、皆様の授業づくりを少しでもお手伝いできれば幸いです。

2025 年 8 月

遠藤 隆平

Contents

▶ 第 1 章

これ1つで何でもできる！ 「Canva」ってどんなアプリ？

究極のアプリCanva	12
豊富な素材が授業で使い放題	14
全機能を1つのデザインに！	16
もうExcelには戻れない!? 劇速・簡単！ Canvaシート	18
AI機能で画像生成、テキスト生成ができる	20
コード不要！ Canvaでゲームやアプリを作ろう	22
COLUMN ① Canvaでつながる	24

▶ 第 2 章

授業の導入・展開時に使える テンプレート

基本操作を体験する！ 自己紹介カード	26
--------------------------	----

自然と会話が広がる！ 学校すごろく	28
ペーパーレス化できる！ Canva連絡帳	30
全員の意見を集める！ Canvaの付箋	32
予想や疑問を分類する！ 付箋機能の活用①	34
意見の傾向から課題を作る！ 付箋機能の活用②	36
導入をスムーズにする！ イラスト・画像活用	38
気持ちをメーターで表現する！ 簡易グラフ	40
全員の進捗が一覧できる！ ロードマップ	42
ゲーム感覚で意見共有！ クイズ&投票機能	44
豊富なイラスト素材で実験計画を作る！	46
情報を整理するためのインフォグラフィック	48
低学年でも使えるワークシート	50
グラフ機能で情報を整理分析しよう	52
COLUMN ② 自分をパワーアップしてくれるICT	54

▶ 第 3 章

授業のまとめ・振り返り・ 評価に使えるテンプレート

ポスター機能でまとめ新聞を作ろう	56
コミックストリップでまとめ漫画を作ろう	58
YouTube風にまとめ動画を作ろう	60

作品を一覧できるまとめサイトを作ろう	62
学んだことをコレクションしよう	64
ウェビングマップで考えを整理しよう	66
レーダーチャートで自己評価しよう	68
子どものデザインにレビューしよう	70
COLUMN ③ 学校でCanva活用を推進	72

第 4 章

Canva実践事例 教科別テンプレート

【国語】AI画像生成機能で作る登場人物関連図	74
【国語】ドキュメントを使って作文を書こう	76
【算数】Canvaのワークシートで計算練習をしよう	78
【算数】図形の学習でCanvaを活用しよう	80
【理科】フローチャートで実験計画・記録をしよう	82
【社会】探究的な学びを支える学習シート	84
【体育・音楽】Canvaスプレッドシートで自己評価する	86
【体育】作戦カードで動きを見やすく理解する！	88
【図画工作】相互鑑賞カードで作品の評価を送り合おう	90
【図画工作】なぞって下書きを描いてみよう	92
COLUMN ④ Canvaを学校全体で活用	94

第 5 章

もっとスムーズに！ 授業×Canva活用ガイド

まずは今までの授業でCanvaを活用しよう	96
共同編集機能で協働的な学習が叶う	98
共同編集をリアルタイムで把握する	100
録画機能を使って発表しよう	102
Canvaのライブでリアクションを送ろう	104
ブランド機能で個別最適な学びにつなげる	106
Canva内で課題を配付&提出する	108
COLUMN ⑤ 1人1台端末をなぜ使うのか	110

付録

Canvaの基本操作を ここでおさえる！

0 はじめての人は、Canvaに登録	112
1 子どももCanva教育版を使えるようにする (教師のCanvaクラスに招待する)	112
2 まずホーム画面で使用したいアイコンをクリック	113

3	テーマに合ったテンプレートを選ぶ	113
4	カスタマイズの画面(編集画面)の主な機能	114
5	言葉や文字のフォント、大きさ、色を変える	115
6	新しいテキストボックスを作る	115
7	画像を編集する、差し替える	116
8	オブジェクトや背景の色を変える	117
9	Canvaで編集したい手持ちの写真・画像をアップロードする	117
10	描画(手書き)機能を使う	118
11	複製・追加・削除・非表示・ロックをしたい	118
12	ホワイトボード機能を使う	119
13	アプリの呼び出し方	120
14	編集デザインを保存する	120
15	デザインをダウンロードする	121
16	デザインを共有する	121
17	テンプレートとして配付する	122
18	公開閲覧リンクを作成する	122
19	QRコードで共有する	123
20	QRコードを作成する	123
21	付箋機能の操作方法	124
22	AIで文章を作る	125
23	AIで画像を作る	125
24	AIで作った画像を編集する	126
25	動画を作る	127

Canvaで 授業がもっと楽しく！

こんな先生にもおすすめ

Canvaを授業で使ってみたいけど…

- ? 1からテンプレートを探して作るのが大変
- ? そもそも授業でどう使うのかわからない
- ? 操作方法がよくわからない

大丈夫です！

探す・作る手間ナシ！

使いたいテンプレートのQRコードを読み込むだけで
すぐ使えます。

すぐ使える！

簡単
ダウンロード！



写真で見てわかる！

テンプレートを実際に授業で活用した事例を、豊富な写真とともに紹介。ポイント解説でコツもわかる！



操作ガイド付き！

巻末には、Canvaの基本操作をわかりやすくまとめた付録ページ
を収録(P.111)。初心者でも安心！



全員の意見を集める！ Canvaの付箋



Canvaで全員の意見を素早く共有

授業の始めに、子どもたちの疑問や意見を聞くことがありますよね。しかし、全員の意見を聞くには時間が足りず、一部の子どもだけが発表することになりがちです。この付箋テンプレートなら、全員の意見や立場を一度に閲覧でき、誰がどこに書き込んでいるかもすぐにわかります。これにより、限られた時間で全員の考えを把握することができます。

やってみよう！

- 1 QRコードを読み取り、「新しいデザインにテンプレートを使用する」をクリックします。
- 2 教師は、テンプレートに質問を入力します。
※ Canva 教育版の利用でない方は、位置ロック機能がないため、1ページ目は全てロック状態になっています。全てのロックがはずれている2ページ目を使用してください。
- 3 必要があれば、「意見によって色を変えよう」の付箋の中に、指示を書き込みます。
- 4 教師の入力すべきことを入力し終わったら、リンクを子どもに共有します (P.121の[16]参照)。
- 5 子どもたちは、質問を見て自分の出席番号の付箋に回答を入力。
- 6 意見の立場によって色の変更を行う場合は、付箋の位置ロックをはずしてから付箋の色を変更するよう子どもに伝えます。

※付箋機能の使い方は P.124 の[21]参照。



すぐに使える「付箋」テンプレート

クラス全員の意見に触れられる

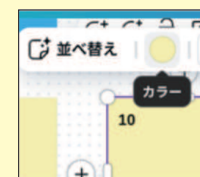
「付箋」テンプレート活用例

①質問：「働く」とはどのようなことでしょうか？	②意見によって色を変えよう	つきたい職業がある：ピンク	まだつきたい職業がない：ライトブルー	
10 働くために必要なこと	11 働くために必要なこと	12 働くために必要なこと	13 働くために必要なこと	14 働くために必要なこと
15 働くために必要なこと	16 働くために必要なこと	17 働くために必要なこと	18 働くために必要なこと	19 働くために必要なこと
20 働くために必要なこと	21 働くために必要なこと	22 働くために必要なこと	23 働くために必要なこと	24 働くために必要なこと
25 働くために必要なこと	26 働くために必要なこと	27 働くために必要なこと	28 働くために必要なこと	29 働くために必要なこと
30 働くために必要なこと	31 働くために必要なこと	32 働くために必要なこと	33 働くために必要なこと	34 働くために必要なこと
35 働くために必要なこと	36 働くために必要なこと	37 働くために必要なこと	38 働くために必要なこと	39 働くために必要なこと
40 働くために必要なこと	41 働くために必要なこと	42 働くために必要なこと	43 働くために必要なこと	44 働くために必要なこと
45 働くために必要なこと	46 働くために必要なこと	47 働くために必要なこと	48 働くために必要なこと	49 働くために必要なこと
50 働くために必要なこと	51 働くために必要なこと	52 働くために必要なこと	53 働くために必要なこと	54 働くために必要なこと
55 働くために必要なこと	56 働くために必要なこと	57 働くために必要なこと	58 働くために必要なこと	59 働くために必要なこと
60 働くために必要なこと	61 働くために必要なこと	62 働くために必要なこと	63 働くために必要なこと	64 働くために必要なこと
65 働くために必要なこと	66 働くために必要なこと	67 働くために必要なこと	68 働くために必要なこと	69 働くために必要なこと
70 働くために必要なこと	71 働くために必要なこと	72 働くために必要なこと	73 働くために必要なこと	74 働くために必要なこと
75 働くために必要なこと	76 働くために必要なこと	77 働くために必要なこと	78 働くために必要なこと	79 働くために必要なこと
80 働くために必要なこと	81 働くために必要なこと	82 働くために必要なこと	83 働くために必要なこと	84 働くために必要なこと
85 働くために必要なこと	86 働くために必要なこと	87 働くために必要なこと	88 働くために必要なこと	89 働くために必要なこと
90 働くために必要なこと	91 働くために必要なこと	92 働くために必要なこと	93 働くために必要なこと	94 働くために必要なこと
95 働くために必要なこと	96 働くために必要なこと	97 働くために必要なこと	98 働くために必要なこと	99 働くために必要なこと
100 働くために必要なこと	101 働くために必要なこと	102 働くために必要なこと	103 働くために必要なこと	104 働くために必要なこと

付箋の色の変え方



①付箋を選択してロックを解除します。



②○を選択して色を変更します。



リアルタイムで把握できる

このテンプレートでは、付箋に位置ロックがされていることで、間違えて削除したり、位置がズレることを防げます。そして、出席番号が振ってあることで、どこに何を入力すればよいかも明確になっています。



スキル操作の指導時間を少なく

質問をあらかじめ書き込んでおくことで、子どもが何を書けばよいかが明確になります。また、色の変更指示なども明記しておくと、作業がスムーズに進みます。付箋の文字の大きさは、一瞥で見たときにも見える大きさに設定するとよいでしょう。

POINT

- 全員の意見を一度に把握できる
- 位置ロックや出席番号順で整理する
- テンプレートを活用すると難しい操作が必要ない

図画工作

相互観賞カードで作品の評価を送り合おう



作品の紹介カードも鑑賞カードもCanvaで作成

Canva を使えば、図画工作科で作った立体作品や生活科や理科での観察記録を写真や動画で残すことができます。写真や動画に直接、記録を書き込むことで、具体的な説明ができます。また、友達からフィードバックを受け取れることで、やりがいも感じられます。

やってみよう！

- 1 QRコードを読み込み、テンプレートの「作品カード」を授業に合わせて編集します。
- 2 クラスの人数分、ページを複製して (P.118 の⑪参照)、子どもにリンクを共有します (P.121 の⑫参照)。
- 3 子どもには自分の出席番号のページを使用するよう伝えます。
- 4 子どもはカメラで作品の写真を撮り、サイドバーの「アップロード」から写真をアップロードします (P.117 の⑨参照)。動きがあるものは動画にしてもよいですね。
- 5 アップロードした写真を中心のフレームに近付けると、自動で写真がフレームの大きさに収まります。
- 6 タイトルや工夫・気付いたことを書き込んでいきます。
- 7 友達のカードを鑑賞します (実物も併せて見せるとよいですね)。
- 8 友達のカードに移動してから素材をクリックすると、吹き出しマークが出てくるので、吹き出しマークを押して文字を入力します。
- 9 スタンプなどを押し合ってもよいですね。



工夫を書き込みやすい「作品カード」

クラウド上でいつでも見える

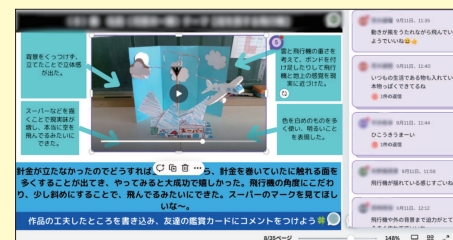
6年「入り口の向こうには」(開隆堂)の作品カード例



クラウド上に記録する良さ

置き場がなくなってしまう図工作品もデジタルで記録に残せます。作品が動いている様子を動画やGIFで保存できるため、作品の魅力がさらに伝わります。評価をつける際にも、いつでも簡単に作品を見返すことができます。

「ゆらゆら ドキドキ」の作品カード



良さを伝え合う機会に

コメントだと気軽に、大勢の人に良さを伝えることができます。友達からほめてもらえることややっぱりうれしいですよ。教師も具体的にフィードバックを返してあげることが可能になります。

POINT

- 作品や観察したものを記録に残すことができる
- 写真や動画に直接具体的な工夫が書き込める
- 作った子に直接フィードバックができる